

中高生タイム（かもん亭）の充実

取組の背景・目的

台場地区は、生活圏がある程度限られていることや、公立保育園・幼稚園・小中一貫校がそれぞれ一つずつでありコミュニティスクールとして日常的に深い関わりを持っている。

そのため、乳幼児から中高生までが家族ぐるみで交流している姿が多く見られ児童館でも関わりながら過ごす姿が多く見られている。

中学生になると部活等で通常の児童館開館時間（18 時まで）では遊びに来れる日が限られてしまうため、子どもたちの要望により毎週金曜日は中高生のみ午後 7 時まで活動できる時間とした。

他地区の中学校や高校に進学した児童も、金曜日には児童館で再会できる気持ちがあり、しばらく台場地区から遠ざかっていた児童も懐かしく集う場として活用されている。

取組の概要

【実施時間・頻度】

毎週金曜日 午後 6 時～7 時

※ ただし三期休業中は 6 時前に活動できる日が多いため休止

※ 学期に 1 回「かもん亭スペシャル」として午後 8 時まで時間延長して実施

【実施場所】

台場児童館内全室開放

【実施内容】

中高生が交流しながら自由な活動を楽しむ。

（バスケットボール・ビリヤード・ダーツ・カードゲーム等）

かもん亭スペシャルでは「ダーツ大会」「BINGO 大会」「縁日体験」など、利用者とともに企画して簡単なイベントを実施している。

【職員体制】

職員 2 名が交代で対応。

基本的に時差出勤で対応している。

【その他】

コロナ禍となる前は、毎回軽食づくり（たこ焼き・お好み焼き・パンケーキなど）を実施して、作ったり食したりすることを楽しむ時間も共有していた。

工夫点・留意点

- * 中高生が相互に関われるプライベートな時間も貴重だと考え、状況を見ながら自由な活動を尊重している
- * 小学生とともに過ごす際には制限されるような遊びもダイナミックに展開できるよう、かもん亭の時間にのみ設定する遊びも工夫している。またその内容は参加している中高生からも要望を聞くようにしている。（中高生用のボールを使用したバスケットボール・ビリヤード・ダーツ・麻雀・カラオケセット等）
- * 友だち関係や家族のこと等で悩みを抱えている様子が感じられた際には、本人との関係性が良好な職員を配置して相談しやすい環境を作る。

取組の効果

- * 中高生の利用がコンスタントにあり、良好なコミュニケーションの場となっている。
- * 台場地区以外の中学校や高校に通い始め、一旦足が遠のいた児童も、何かトラブルや心配事を抱えたり気持ちが落ち込んだりした時に立ち寄れる場となっている。そのことで元気を取り戻して、また新たな活動の場に踏み出せるケースが多く見られる。
- * 学期に一度の「かもん亭スペシャル」や「児童館まつり」等イベントの企画に携わる機会としても「かもん亭」の場を活用している。企画から運営の相談をする充実した場となっており、達成感を味わう機会につなげている。

課題・今後の展開

- * 中高生は飲食を伴う活動の場を好む傾向があり、コロナ禍で制限をしていることが利用者の不満や利用減に繋がっている。今後感染対策を徹底したうえで利用者の希望を取り入れていくことを検討したい。
- * 孤食やコンビニ夕食となっている中高生もいると思われる。地域では子ども食堂の実施案も出ており、連携について検討したこともあった。今後の展開できる可能性もある。